

# 星天ニュース

第1号

発行日：平成19年1月15日

発行：横浜市道路局

編集：相模鉄道株式会社

～相鉄線の連続立体交差事業のお知らせです。～

日頃より、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年度より星川駅周辺から鉄道高架化区間の工事に着手してまいりましたが、今年度からはほぼ工事区間全域で工事を進めております。今後、定期的に当事業の工事に関する情報を相鉄線沿線の皆様に本紙によりお伝えしてまいりますので、ご一読いただきたいと思います。

## 星川駅仮駅舎・仮跨線橋（自由通路）工事

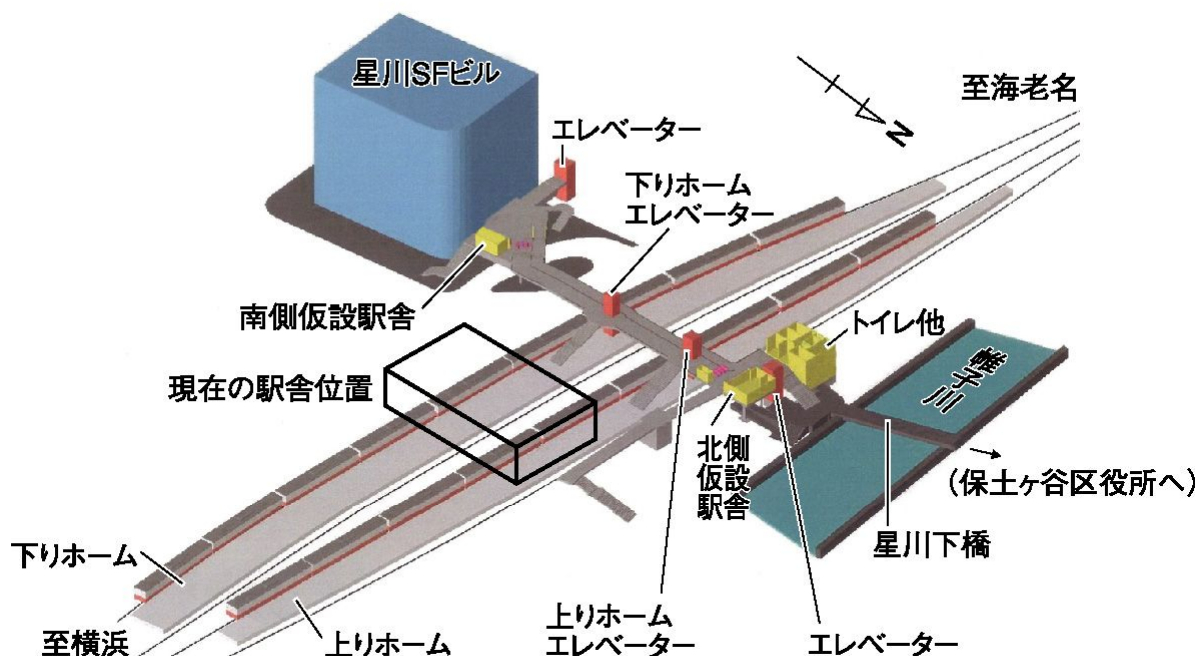
現在星川駅においては、高架化工事期間中にご利用いただく仮駅舎・仮跨線橋建設工事をすすめています。この仮駅舎は、現在の駅舎の海老名よりに設置され、北側（保土ヶ谷区役所側）と南側に改札口が分かれる跨線橋の形態となります。また、跨線橋には終日南北に横断できる自由通路も併設します。現在の駅舎からの切替えは平成20年3月末を予定しています。

なお、この仮駅舎建設にあわせて改札の内外に各2箇所、計4箇所にエレベーターを設置し、駅切替えとともにバリアフリー化が図られます。



星川駅で進めている仮駅舎建設工事  
(平成18年12月星川下橋より撮影)

### 星川仮駅舎完成予想図



### ～お知らせ～

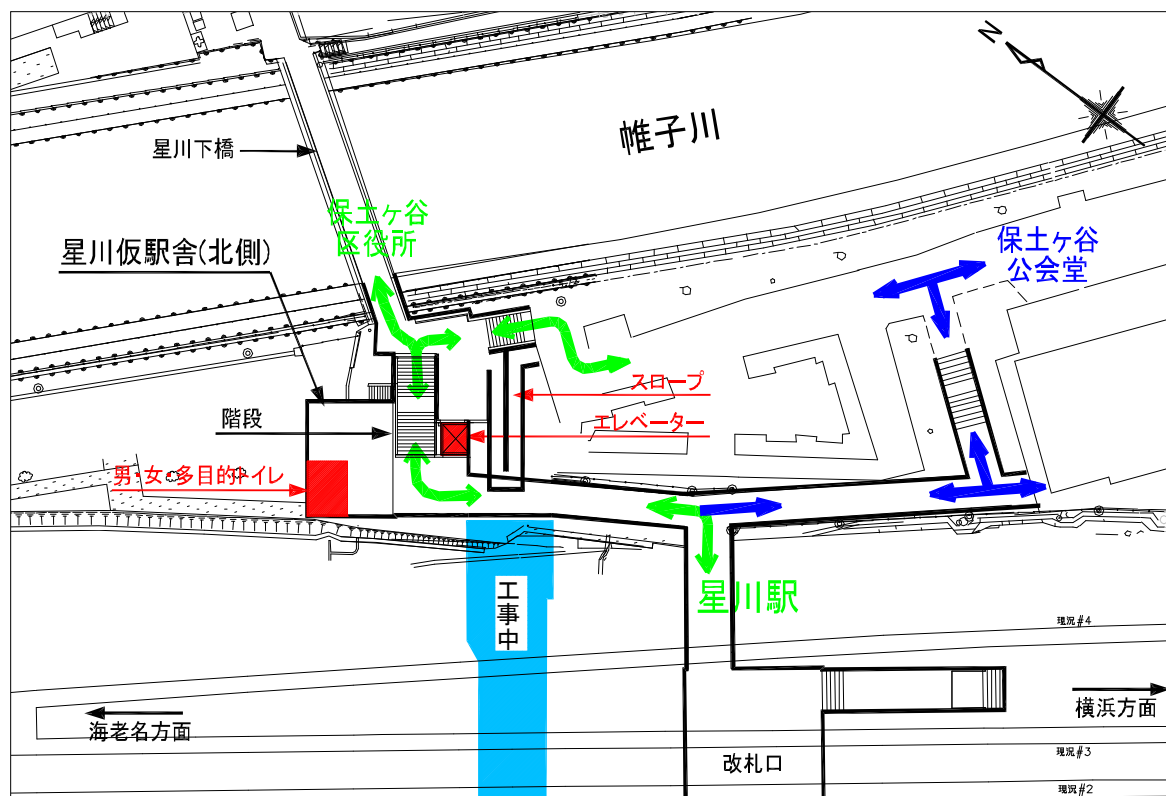
相模鉄道株のホームページでも、連続立体交差事業に関する「現在の工事状況」や「事業に関するお知らせを」をご覧ください。こちらをあわせてご利用ください。

ホームページアドレス：<http://www.sotetsu.co.jp/train/crossover/>

## 星川仮駅舎の一部先行使用について

前頁にて仮駅舎・仮跨線橋の建設についてご案内いただきましたが、平成19年1月27日（土）より北側（保土ヶ谷区役所側）の仮駅舎の一部を先行してご利用いただきます。改札口は現在のままですが、改札口と帷子川を渡る星川下橋までのルートが、下図のとおり仮駅舎の一部を通過していただくようになります。これと同時に北側の仮駅舎内に設置したエレベーターや旅客トイレ、車椅子やオストメイトをご使用の方もご利用しやすい多目的トイレ、星川下橋と公会堂方面への段差に対応するスロープも使用開始となります。

なお、現在下りホーム上にある旅客トイレは閉鎖いたします。



### 星川仮駅舎・北側改札外エレベーター

供用開始日時：平成19年1月27日（土）

午前5時より

稼動時間：午前5時～午前1時15分

定員：11人

※ 1階の乗降口は星川下橋の高さとなります。

※ 写真：平成19年1月撮影



## 仮線準備工事

今回の連続立体交差事業では、高架化工法として「仮線方式」を採用しています。これは線路を地上で現在より北側に一旦切替えて、南側の空いたスペースに高架橋を建設し、順次高架上へ切替えるものです。この北側に敷設する仮の線路を「仮線」といいます。現在工事区間各地において、「仮上り線」を敷設するための準備工事を実施しています。

今回の事業で最初の線路切替えとなる仮上り線への切替えを平成19年10月末に予定しています。



天王町1号踏切付近で進めている護岸防護工事  
線路が帷子川に近接するため地盤の補強し護岸  
を防護するもの（平成18年11月撮影）



星川4号踏切付近で進めている仮線路盤整正工事  
（平成18年12月撮影）

## 星川2号踏切の移設について

今回の連続立体交差事業では、線路を北側に切替えて高架化工事を進める「仮線方式」を採用していますが、上下線を一度に切替えることができないため、上り線が仮の線路の位置で下り線が現在の線路の位置となり、上下線の線路の間が広く空き、踏切の横断距離が長くなる期間が約1年半程度発生します。特に星川駅から和田町方面に向かって2つ目、水道道（市道鶴ヶ峰天王町線）と相鉄線が交差する星川2号踏切では、もともと道路と鉄道が鋭角に交差するため踏切を横断する距離が長く、踏切を現在の位置のままで「仮上り線」に切替えた場合、横断距離が約46m程度となり、通行する歩行者の方や車が、遮断機が降下するまでに渡りきれなくなる危険な状況が想定されます。このため、次頁図の通り、星川2号踏切とその前後の道路を一時星川駅寄りに移設（迂回）することで横断距離を緩和し、踏切交通の安全確保を図ります。また、あわせて歩道を設置し、歩行者のさらなる安全確保にも努めます。

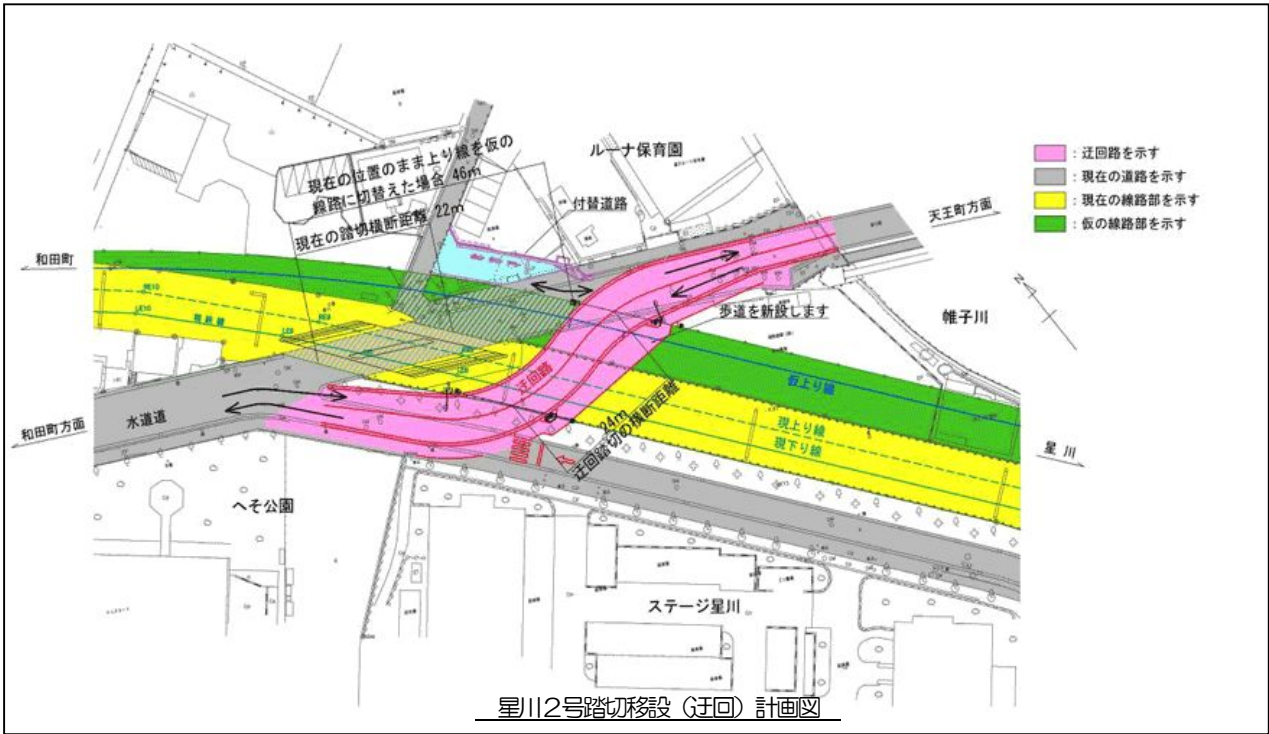
この迂回道路への移設切替えは平成19年2月末に行う予定です。詳細の日程が決定次第、別途ご案内いたします。尚、この移設切替え段階では線路の位置は現在のままであり、平成19年10月予定の仮上り線切替えの段階で次頁図の通りとなります。



星川2号踏切（平成18年10月撮影）



移設工事中の星川2号踏切付近（平成19年1月撮影）



### 横浜市における“道路見える化計画”について

横浜市道路局では、市民の皆さんに親切で分かりやすい説明・PRを積極的に行う取り組みの一環として、国土交通省が進めている「道路見える化計画・現場見える化プロジェクト」の横浜市版を相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業の現場で実施しております。

この取り組みでは、相鉄線の踏切を通行する歩行者やドライバー、鉄道利用者の皆さんに連続立体交差事業に対するご理解、ご協力をいただくため、箇所の踏切に事業の概要や工事目的を分かりやすくしたPR看板を設置しています。



事業区間の踏切に掲示しているPR看板



星川駅に掲示しているPR看板

### ～お問合せ～

- 事業に関するお問合せ …… 横浜市 道路局 計画調整部 鉄道交差調整担当  
Tel 045 (671) 2792
- 工事に関するお問合せ …… 相模鉄道(株) 鉄道カンパニー 施設部  
星川・天王町駅付近連続立体交差工事事務所  
Tel 045 (335) 6733